

文京区青少年プラザ (b-lab) の運営について

1 施設概要

- (1) 場 所 文京区湯島4-7-10
 (2) 開館日 通年開館(年末年始を除く)
 (3) 開館時間 午前9時から午後9時まで(中学生の利用は午後8時まで)
 (4) 利用対象 主に区内在住・在学の中学生及び高校生
 (5) 設置施設

| 施設名 | 主な仕様・利用想定 |
|----------------|---------------------------|
| 中高生談話スペース | 談話、読書、自習、工作、PC貸出等 |
| ホール | ダンス、演劇等 |
| 音楽スタジオA | 楽器演奏(グループ) |
| 音楽スタジオB | 楽器演奏(個人) |
| プレイヤード | 屋外での軽運動 |
| 自習室(教育センター研修室) | 教育センター研修室の利用がない時は自習室として活用 |

2 利用実績(令和3年度4月~12月分)

緊急事態宣言の発出に伴い、4月25日~6月20日は通常利用を休止(自主勉強目的の利用は可)

(1) 新規登録者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 |
|-----|-----|----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| 中学生 | 91 | 18 | 27 | 90 | 63 | 37 | 72 | 61 | 68 | 527 |
| 高校生 | 26 | 2 | 13 | 49 | 58 | 30 | 47 | 61 | 49 | 335 |
| 合計 | 117 | 20 | 40 | 139 | 121 | 67 | 119 | 122 | 117 | 862 |

※令和2年度4月~12月:583名(中学生:301名 高校生:282名)

※令和2年度新規登録者数:690名(中学生:360名 高校生:330名)

(2) 来館者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 |
|-----|-------|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 中学生 | 423 | 9 | 267 | 680 | 735 | 496 | 587 | 540 | 549 | 4,286 |
| 高校生 | 642 | 11 | 245 | 950 | 1,121 | 773 | 658 | 903 | 953 | 6,256 |
| 合計 | 1,065 | 20 | 512 | 1,630 | 1,856 | 1,269 | 1,245 | 1,443 | 1,502 | 10,542 |

※令和2年度4月~12月:8,853名(中学生:3,645名 高校生:5,208名)

※令和2年度来館者数:12,239名(中学生:4,999名 高校生:7,240名)

3 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応

政府による「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」の発出の時は、昨年度に引き続き下記のとおり利用制限を設けて運営。

(1) 開館時間

状況に応じて閉館時間を短縮。

(2) 人数制限

各室の利用者数に上限を設けた。

(3) 衛生管理

検温、手洗い(消毒)、マスク着用、館内での飲食禁止。(但し、水分補給の場合を除く)

4 令和3年度実施事業

(1) 主な定期講座・イベント

ア 自習応援！マナビ場（定期講座）

中高生の自習の場を、館内及びオンラインで作成。皆が勉強に向き合う空間を提供する。

イ クリエイターズ.lab（定期講座）

CM作成や短編小説の執筆等、ものづくりをテーマとしたワークショップを行う。

ウ クイズ部（中高生自主企画イベント）

より多くの中高生が参加しやすいよう、様々なジャンルのクイズ・謎解きを作成・実施。

(2) フェス事業

年3回（夏・冬・春）、主にライブやダンス発表等を開催。中高生スタッフが各期の活動の集大成として、事業の企画・運営を行う。

ア 夏フェス

8月の緊急事態宣言解除後、9月19日（日）に開催。感染拡大防止のためバンドやダンス等の発表は中止し、早押しクイズやプレゼン等の企画を館内で実施した。

イ 冬フェス

12月26日（日）・12月27日（月）に開催。1日目は、感染防止対策を徹底した上で、バンドやダンス等の発表をホールにて実施した。2日目は、中高生企画イベントや b-lab アワードを実施。

ウ 春フェス

令和4年3月末に実施予定。

(3) 地域連携事業

b-lab利用者が、館内だけではなく地域においても活動・活躍の機会を持てるよう、青少年健全育成会等関係機関との連携を進めている。

ア 教育センター謎解き企画

教育センター内で謎解きイベントを実施。中学生が作成したなぞなぞクイズを教育センター内に掲示し、小学生等の来館者に謎解きを提供した。

イ 文京ワカモノ未来 PROJECT

中高生が初めての「ヒト・モノ・コト」に出会い、探求学習のきっかけを生み出すことをテーマに、区内の様々な場所でワークショップを実施。今年度は、放課後NPOアフタースクール・文京区立真砂中央図書館・ルーラルコーヒアの3会場にて実施。ワークショップを通じて中高生の「やってみたい」を支援した。

ウ 湯島青少年健全育成会との連携事業

湯島青少年健全育成会で実施している「野外活動・美と生活」と青少年プラザで実施している「謎解き企画」のコラボとして、小学生を対象に令和4年3月に実施を予定している。

5 中高生スタッフ

運営に主体的に関わる利用者が「中高生スタッフ」として、各種事業や運営に参画している。また、各学期に合わせて活動期間を設定している。

| 今年度の活動 | 人数 |
|------------|----|
| 21期(4~8月) | 12 |
| 22期(9~12月) | 15 |
| 23期(1~3月) | 15 |

6 広報活動

(1) WEB 媒体での広報

- ア WEB サイト (<http://b-lab.tokyo/>)
- イ Twitter (@blab_tokyo)
- ウ LINE@
- エ Instagram
- オ YouTube

(2) 紙媒体での広報

- ア 広報誌「Bunkyo teens magazine Cha!Cha!Cha!」
- イ b-lab たより (生徒向け)
- ウ b-lab 通信 (教員向け)

7 出張 b-lab

区立中学校を対象とした出張授業を実施。b-lab 運營業務事業者の NPO 法人カタリバによるキャリア学習プログラム「カタリ場」を行い、大学生スタッフと生徒の対話を軸に、進路意識の向上や将来への希望・意欲の創出を図っている。

今年度は、12月17日(金)5~6時間目に、文京区立文林中学校の2年生に向けて実施。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から4つの教室に分散し、少人数での談話や個人ワークシートを通して、生徒が自分自身と向き合う時間を提供し、進路選択の一步を踏み出すきっかけを生み出した。

また、スライドや資料を用いた b-lab の施設・事業紹介を行い、中高生が気軽に大人と話せる場、「やってみたい」ができる場としての利用を促している。

8 今後について

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策により、利用人数制限、イベントの中止、自習活動のみの利用など、通常利用ができない1年間だった。来館者数は、通常利用の半減、昨年度計画したことは、ほとんど実施できなかった。そのため、令和4年度の計画は、前年度とほぼ同じ内容の計画である。

(1) 新規層の獲得

b-lab に足を運んだことがない中高生に対し、b-lab は誰でも気軽に利用できる場所であることを伝えるため、広報誌やホームページ・SNS 等での利用内容、イベント紹介の発信を通じて、b-lab の「居場所」利用のアプローチを促進する。また、b-lab を知ってもらうために効果的な出張 b-lab は、引き続き区立中学校で実施すると共に、将来的な来館者である小学生へのアプローチとして、小学校での出張 b-lab の実施を新たに検討する。

(2) 地域連携

施設を利用する中高生が、社会の中で新たな気付きや実感を得るために、地域連携事業を実施する。引き続き湯島青少年健全育成会、文京ワカモノ未来 PROJECT を行うとともに、新たに中高生利用者が活躍できる舞台を共に発掘していく。

(3) 中高生の自主的な活動の支援

多種多様化する中高生の興味・関心に対応するため、中高生利用者の意見・要望を吸収すると共に、中高生が事業の企画・運営に参画しやすい環境をつくる。また、SDGs など社会に関する課題に触れる機会を設け、交流を図っていく。